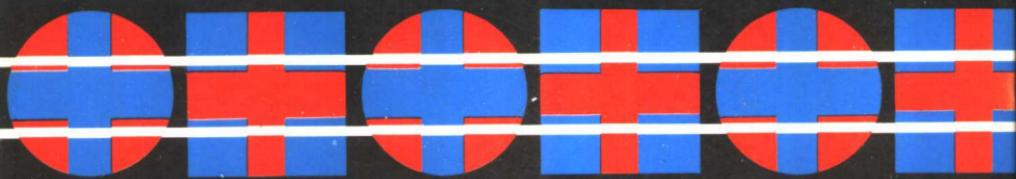


昭文

漢字用語字典

文學博士 藤堂明保 監修



語文叢書24
水牛出版社

語文叢書 24

昭文 漢字用語字典

藤堂明保 監修
平井充良 主編

水牛出版社

昭文漢字用語字典

語文叢書 24

監修者：藤 堂 明 保
主編者：平 井 充 良
發行人：彭 誠 晃
出版者：水牛圖書出版事業有限公司
地址：台北市金山南路一段 135 號 2 樓
電話：3410275•3215644
郵政劃撥 0013932-1 號
初版：中華民國 77 年 5 月 31 日

登記證 局版台字第0628號

◀ 版權所有・不許翻印 ▶

*はじめに

放送では、シンスイカオク（漫水家屋）を「水につかた家」と言いかえている。耳で聞きとるには、たしかにそのほうがよい。ところが手紙や文章を書くときには、事情が違つてくる。

「はなしをきくほどに、むねがつまり、めがしらがあつくなつてきた。」というかな書きの文章は、しまりがなくて読みづらい。中に漢字をはさむと、表記がぐつとひきしまるのである。「話を聞くほどに、胸が詰まり、目頭が熱くなつてきた。」たんに二十八字が二十四字に減つただけではなく、おもな単語が浮き出て全体がとらえやすくなる。ただこのさい、つまる詰まる、めがしら→目頭と書きかえたいと思つても、度忘れして漢字が思い出せないことがある。手もとに簡単な用語字典があつてほしい。右の例は、すべて、和語から成つてゐるから、めがしら→目がしら、でとどめて、「目頭」とまでは書かなくてよい。しかし私たち日本人は、時にはいさか科學のあるところを見せたくなつて、「フリン（不倫）の恋」「ナラク（奈落）の底」「ヒジョウ（非情）の雨」などと言い表したいと思うことがあるか、急には漢字か念頭に浮かんでこない。焦つたあまりに「非常の雨」と書いてこまかそうものなら、優勝をかけた試合が中止されたうらめしさが、どこかへふつとんてしまう。こんな時にも手もとに簡単な用語字典を置いておきたいと思うのである。

私はべつに使う漢字をふやすように、と主張するのではない。たとえば警察が立てた看板に「事故多発箇所！」とあるのは、「ここ事故多し！」とかなをまじえて書いたほうが、はるかに目にとまりやすい。しかし、もともと漢語であつて日本語に取り入れられたことばは、かなで書くと、どうも読みづらい。漢語ことばを使つからには、漢字で正しく書き表せるよう努めすべきである。就職のさいに「書取り」を課するところが多いのは、そのためである。セイシングタンシ（成人男子）を「生人男子」と書くような珍答案（男がどうして人を生めようか）が跡をたたないのは、困つたことである。誤字や当て字は、社会のコミュニケーションを破壊する。これから世に出る若い人にも、正しい表記に習熟してもらいたい。そのためにも、簡単な用語字典を座右に置く必要があるだろう。

この字典は、日常の読み書きに使われる漢字の使い方を示した実用の書である。やや多めに例を収録してあるので、使用される皆さんがわざで誤解されるおそれがないと判断されたときは、かな書きですまされてもかまわない。常用漢字をはみ出るような漢語は、他のことばに変えることもあつてある。明治大正の作家のようには、きつと（屹度）となるべく（可成）、いまさら（今更）のよう、よけいな漢字の乱用をくり返してはなるまい。そのあたりの取扱は大衆の常識にまかせるのが本筋であろう。たとえば、たん（單）に、とく（特）に：のよくな漢語副詞は、かな書きがよいか、ひじょう（非常）に、かくべつ（格別）に：のよくな長い例は、むしろ漢字で書き表したほうがわかりやすいだろう。

ちなみにこの字典は、読み書きの参考にする実用の書であるから、国語的な機能に重点をおき、漢字の「親字」の語源的な意味や古典的な使い方にはふれていない。

* 本字典の特色と凡例

日常普通の生活で使われる語は二万語余りで、これらの語を集めた簡易な字典類はかなり出ています。が、その多くは解説が簡単すぎて、一字・一語でも重要な意味や使い方がいくつあるものでも、それが出ていません。用例も少なく、調べた漢字がどんな使われ方をしているのか、正しく判断できません。類似の字や語の使い分けにも迷います。分厚い辞書を使えば詳しく出しているわけですが、普段使わない字や語がひっしりとひしめいでいて、めざす字や語を引くのにも手間がかかりますし、携帯にも不向きです。忙しい仕事の最中や旅先で使う時にはハンディーで手軽に利用でき、引いた字や語の意味・使い方が的確につかめる——このような機能が必要です。その願いをこの一冊に結晶させてみました。見出し語の数は約二万語ですが、漢字母（語をつくっているもとの字）や日本語の基礎になつているような語は、意味と使い方（用例）を詳しくしてありますから、中味の濃さは三万語以上の字典に負けないくらいです。きっと日常の言語生活の好伴侶にしていただけることと信じます。

- 1 普通の日常生活で使用度の高い語（漢字母・慣用句などを含む）を主に選び、現代かなづかいで五十音順に配列した。音訓と送りがなは、「常用漢字表（昭和五六年三月）」を基準とした。
- 2 漢字母は、常用漢字一九四五字の全部を収録し、常用漢字表のすべての音訓（音はかたかなで、訓はひらがなで）を示した。なお、字体が旧字といわじるしく異なるものは、その旧字を（）の中に示した。また、「一↓一」、「サ↓サ」、「レ↓レ」、「チ↓チ」などの表示は一部略した。
- 3 常用漢字表外の字も、雑誌等で使用度の高いもの、他の字との比較上（同音異字などで）必要と思われるものは見出し語に収録した。表外の字を含む語、表にない音訓を含む語も同様である。
- 4 外来語・外国語は原則として取り上げなかつたが、すでに日本語化されているもの（「チヂミ」「パン」「煙草」）は、当て字の部類として収録した。「磅」「法」なども同様である。

記号	
▼	常用漢字表外の字、またはその字を含む語。
△	従来の当用漢字以外の字で、新たに常用漢字となつた字、またはその字を含む語。
◎	当て字・熟字訓（表中・表外字に関係なく）。またはそれを含む語句。
○	同意語・同類語。 ⇄ 反対語・対照語。
参考	注意。読み・表記に関するものが多い。
☆	語例・文例。 読み・表記に関するものが多い。
語例・文例	語例・文例中の見出し語。但し活用形はその形で示した。

あ

亞(亞)	①大ぐ。☆重複。 ②假てい る。☆重複。 ③酸素原子の割合が 少ない化合物の名に使う。☆重複。
哀嘆	④中細毛アシナの略☆重複。
鳴呼(・嗚) (・噫)	①驚きや感動の 声。☆美しい。
(2)呼びかけや答答の語。☆「行」。	
(1)悲しい。☆「來」。	
(2)あれれむ。☆「哀嘆」。	
(5)大	

愛(愛)	①かわいらしい 性質の。☆「品」。
愛(愛)	②衣類。③春と秋に着る衣服。
愛(愛)	④中細毛アシナの略☆重複。
愛(愛)	①驚きや感動の 声。☆美しい。
(2)呼びかけや答答の語。☆「行」。	
(1)悲しい。☆「來」。	
(2)あれれむ。☆「哀嘆」。	
(5)大	

愛(愛)	①かわいらしい 性質の。☆「品」。
愛(愛)	②衣類。③春と秋に着る衣服。
愛(愛)	④中細毛アシナの略☆重複。
愛(愛)	①驚きや感動の 声。☆美しい。
(2)呼びかけや答答の語。☆「行」。	
(1)悲しい。☆「來」。	
(2)あれれむ。☆「哀嘆」。	
(5)大	

愛(愛)	①かわいらしい 性質の。☆「品」。
愛(愛)	②衣類。③春と秋に着る衣服。
愛(愛)	④中細毛アシナの略☆重複。
愛(愛)	①驚きや感動の 声。☆美しい。
(2)呼びかけや答答の語。☆「行」。	
(1)悲しい。☆「來」。	
(2)あれれむ。☆「哀嘆」。	
(5)大	

愛(愛)	①かわいらしい 性質の。☆「品」。
愛(愛)	②衣類。③春と秋に着る衣服。
愛(愛)	④中細毛アシナの略☆重複。
愛(愛)	①驚きや感動の 声。☆美しい。
(2)呼びかけや答答の語。☆「行」。	
(1)悲しい。☆「來」。	
(2)あれれむ。☆「哀嘆」。	
(5)大	

悪心 <small>わるいことをしみつとだらしない女、女を起す。</small>	悪性 <small>性質があわいこと。だちがわるいこと。女のがせ。</small>	悪政 <small>国民幸福をさうな政府。立憲政体。立にしたや。</small>	悪評 <small>①あるいうわざ。女へがうつ。②わるい批評。好評。</small>	悪文 <small>意味のわかりにくい文章。手短い文章。名文。</small>
悪睨 <small>①こせこする事。女へへむ。②へむ。へむ。</small>	悪戦 <small>身につかず。死のものぐるいの苦闘。女そつ。するだー。</small>	苦闘 <small>そのための努力。女へのまへ。勝つ。</small>	不正な方法得た金 <small>女へ。</small>	悪錢 <small>下手な文章。名文。</small>
悪党 <small>不正な方法得た金。</small>	悪僧 <small>不正な方法得た金。</small>	芥子 <small>あくし。女命を。ちりのほのじ日葉にくまれ口。☆をつく。</small>	悪玉 <small>あくし。僧侶。①僧侶。②僧侶やぼいの。</small>	悪魔 <small>神仏の教えをさまたげ心を迷わせ。悪にまとうもの。</small>
悪道 <small>①わるい道筋。悪例。②わるい道筋。悪党。</small>	悪たれ <small>①ひどいいたずら。女へ。②悪たら。女へ。</small>	胡座 <small>あくら。①悪人。②悪人の一回。女へ。</small>	悪友 <small>ない友人。もじ友人。女へ。</small>	悪魔 <small>①おぞろい魔不吉な夢。②まい。☆へから覚める。</small>
朱・縫 <small>つけ倒れる。</small>	悪用 <small>①なんよくない目的。利用する。②科学をする。女へ。多くする。</small>	悪縛 <small>たらが非常識。ひどい事。女へ。手段。なりきる。死人の鳴に取りつられる。</small>	悪縛 <small>女へ。物にさしめる力。計。一チスト。</small>	明け方 <small>①あけ。夜があける。朝明け。②あめ。未女へ。晴て。風晴て。</small>
悪徳 <small>道德に反するわるい行い。</small>	悪徳 <small>①悪い行い。②悪人の一回。女へ。</small>	胡座 <small>あくら。①悪人。②悪人の一回。女へ。</small>	悪縛 <small>たらが非常識。ひどい事。女へ。手段。なりきる。死人の鳴に取りつられる。</small>	明け方 <small>①あけ。夜があける。朝明け。②あめ。未女へ。晴て。風晴て。</small>
欠伸 <small>あくび。自然に口を開いてあくび。口をひらく。</small>	悪行 <small>わるい行いをする人。性質のわるい人。悪者。悪人。</small>	悪縛 <small>わるいと見る。死人の鳴に取りつられる。</small>	悪縛 <small>女へ。物にさしめる力。計。一チスト。</small>	揚句・挙句 <small>①あめ。夜があける。朝明け。②あめ。未女へ。晴て。風晴て。</small>
行われる深呼吸 <small>☆へをかみ殺す。</small>	悪縛 <small>わるいと見る。死人の鳴に取りつられる。</small>	悪縛 <small>わるいと見る。死人の鳴に取りつられる。</small>	悪縛 <small>わるいと見る。死人の鳴に取りつされる。</small>	揚句・挙句 <small>①あめ。夜があける。朝明け。②あめ。未女へ。晴て。風晴て。</small>
開ける <small>①開く。そく。じふく。☆ふたを。口を。</small>	空ける <small>①あらむする。使わな。いつおり。明ける。 ☆まわ。まわす。②ひまむく。時間と。</small>	明ける <small>①あらむする。使わな。いつおり。明ける。☆まわ。まわす。②ひまむく。時間と。</small>	明け方 <small>①あけ。夜があける。朝明け。②あめ。未女へ。晴て。風晴て。</small>	明け方 <small>①あけ。夜があける。朝明け。②あめ。未女へ。晴て。風晴て。</small>
朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>	朝 <small>①午前。☆へ。のうち。町内やの小区域の名。☆へ木と畜生小中河原。</small>	朝 <small>あさ。①口の上下の部分。その音。②下あ。☆へを出す。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>
朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>	字 <small>き。①わざの名。☆へ木と畜生小中河原。</small>	字 <small>き。①本名以外についての別名。☆へを出す。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>
朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>	字 <small>き。①本名以外についての別名。☆へを出す。</small>	字 <small>き。①本名以外についての別名。☆へを出す。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>
朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>	字 <small>き。①本名以外についての別名。☆へを出す。</small>	字 <small>き。①本名以外についての別名。☆へを出す。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>
足・脚 <small>①体を支え歩く脚。下</small>	足・脚 <small>①体を支え歩く脚。下</small>	鮮やか <small>さいやか。①色がうい。☆絵。②圖解で起きた事。</small>	鮮やか <small>さいやか。①色がうい。☆絵。②圖解で起きた事。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>
嘲笑 <small>さうわい。古本を。あざけり笑う。大人</small>	嘲笑 <small>さうわい。古本を。あざけり笑う。大人</small>	欺く <small>さむ。☆へ演技。一に答える。</small>	欺く <small>さむ。☆へ演技。一に答える。</small>	朝駆け <small>①朝早く鳥を走らせる。②朝早く出かける。</small>

足止め	外出をためること。その場所から抜けないこと。
足取り	①歩く様子。☆元気な歩み。☆歩いた運動。☆歩いた連続。☆歩いた連続。☆歩いた連続。
足掛け	①歩く。☆歩く音。②脚を掛けた連絡。☆歩いた連絡。
足掛けかり	①歩く。☆歩きた連絡。☆歩きた連絡。
足跡	①歩いた後に残る足の形。☆歩いた跡跡。
足掛け	①歩く。☆歩いた連絡。
足	足の月日。として計算する数。
足場	☆工作に五年かかる。☆立派な武士。☆一歩も身を起さず。☆味わいがない。☆味わいがなくつまらない。☆一世の中。
足場	①足をかける所。☆足を組む。☆足を組む。☆足を組む。
足慣らし	①歩く練習。☆足を慣らす。☆足を慣らす。
足軽	足軽の。☆歩く。☆足軽の。☆歩く。
足氣ない	味わいがない。☆味わいがなくつまらない。
足下	足下の。☆足下の。☆足下の。
足元	足元をかけた連絡。足元をかけた連絡。
足駄へ	足駄へはだへ。☆足を駄へ。☆足を駄へ。
足代	足代はだへ。☆足を代へ。☆足を代へ。
足つき	足つきはつき。☆足つきがつく。☆足つきがつかない。
足手まどり	足手まどりはまどり。☆足をまどり。☆足をまどり。
足元	足元はもと。☆足元をかざせる。☆足元をかざせる。
東	東とう。東洋とうよう。東洋の。東洋の。東洋の。
預ける	預ける。☆預ける。☆預ける。☆預ける。
預かる	預かる。☆預かる。☆預かる。☆預かる。
価値	価値はいち。☆価値がある。☆価値がある。
徒	徒たう。☆徒歩たう。
徒徳	徒徳たうとく。☆徒徳ある。☆徒徳ある。
頭	頭とう。☆頭の上端。☆頭の上端。
頭金	頭金とうきん。☆頭金をもたらす。☆頭金をもたらす。
頭打ち	頭打ちとううち。☆頭打ちする。☆頭打ちする。
頭株	頭株とうしゅ。☆頭株ある。☆頭株ある。
中	中なか。☆中のこ。☆中のこ。
中る	中るなかる。☆中のこに。☆中のこに。
壓	壓あつ。☆壓あつ。☆壓あつ。
壓(壓)	壓あつ。☆壓あつ。☆壓あつ。☆壓あつ。

圧縮・圧迫	②おさえつける る。★圧制・圧伏・強压 ③圧力の時、☆圧迫・水压・電圧 厚い ①厚みがある。 一堅。(2)心がこもっている。 ●高い。☆高いものでなし。 ●高い。☆高いものでなし。 暑い 温度が高い。★寒い。☆一 熱い ①温度が高い。★冷たい。 ☆一渋。(2)夢中になつていい る。☆おー仲。(1)戦争。
-------	---

圧制・ 幹旋	権力や暴力でおさえつける こと。☆に苦しむ。 權力で壓迫をおさえつける 政治・立場の。仲をとりもつこと。せわ をする。☆標準化。
-----------	--

宛て字・宛字	遣回しに憑口や皮 肉にいう。うまい結果を当て にする。☆人出を当 て込む。 「ボーナスを。」意味とは間 違ひ。☆紙の。一の布。 原紙の。の仕事の。はま。②はま とすくわれていること。 ①おしつけること。☆胸を うすくして。おおむねはかるこ とあてすっぽう。
--------	--

跡	晩にする。(4)次の順番。☆人の と交代。(5)足あと。(2)ゆくえ。☆一 後押し。(1)足あと。(2)ゆくえ。☆一 後味。(1)飲食のあと、口中に残る の残したるし。☆タイヤの。し (4)以前物事がもった跡跡。遠跡 女合戦の。○あつづき。☆取 り戻し。(6)筆跡。☆墨の。一 跡形。(1)飲食のあと、口中に残る こと。後味の。☆標準の。一 後書き・後書き。(2)物事の終わるあ との感じ。気持ち。☆のが悪い。 後書き。(1)書類に書く先方の 宛名。(2)手紙や書類に書く先方の 宛名。(3)正統の。☆もなくな る。☆を正統の。 当て所。(1)よく合う。 當て嵌める。(2)他に通用する。 當て身。(1)本連足の一の矢爲 當て身。(2)柔度で、急所を突いて 當てる。(1)ぶつかる。(2)ぶれさせ られて。(3)光やかな方法。 艶やか。(4)さまで、☆かなめらかで美しい 形。(5)自然に。(6)自然にさす。 やがて。(7)前例に。(8)後 當てる。(9)女性に。(10)女性に。一 後先。(1)前後。(2)順序が入れ代 わる。(3)位につくん。女に座る。 後腐れ。(4)物事が終わらなあとも 生き残る。☆がおわらなあとも 生き残らなことを。★ 跡形。(1)矢の。ないよう。口に落とす。一 後振り。(2)後見の地位、その地 位につくん。女に座る。 跡。(3)女性に。(4)女性に。一 跡形。(5)女性に。一 跡形。(6)女性に。一 跡形。(7)女性に。一 跡形。
---	---

後戻り	①引き返すこと。☆出 て電話する。(3)機。☆は明 るいこと。☆明るくこと。お出 す。☆出でること。大内。☆ あること。☆一人一千円。
-----	---

暴れる	(1) 呼吸する。立體で。(2) 活躍する。	阿鼻叫喚	(1) 若じみさけん。(2) 非常にひどい状態。女の情状を罵る。
浴びせる	(1) 水などをかける。(2) おわせる。恩恵。	浴びる	(1) 口を。③ 構成する。立體で切りかける。(2) 水などをかける。(3) 光を受ける。立朝日。(4) 切りつけられる。(1) 危険だ。立構成する。(2) 危ない。立危険だ。(3) 危い。立危険だ。(4) 危險だ。
危險	(1) 危険だ。立構成する。(2) 安全だ。	危ない	(1) 危険だ。立構成する。(2) 危ない。立危険だ。(3) 危い。立危険だ。(4) 危險だ。
油	体。水と一緒にいる。立構成する。(1) 飲物のあぶら。立膏油。(2) 脂物のや。立油絵。(3) 油揚げ。	油	油。水と一緒にいる。立構成する。(1) 飲物のあぶら。立膏油。(2) 脂物のや。立油絵。(3) 油揚げ。
脂身	肉の脂肪の多い部分。立多くある。立多くある。立多くある。立多くある。	脂身	脂身。肉の脂肪の多い部分。立多くある。立多くある。立多くある。立多くある。
余る	(1) 多い。立多くある。立多くある。立多くある。立多くある。	余る	(1) 多い。立多くある。立多くある。立多くある。立多くある。
雨宿り	雨が止んだ豆腐。立苦し。時などにじみ出る。立せ。立を流す。	雨垂れ	雨が止んだ豆腐。立苦し。時などにじみ出る。立せ。立を流す。
雨宿り	雨が止んだ豆腐。立苦し。時などにじみ出る。立せ。立を流す。	雨宿り	雨が止んだ豆腐。立苦し。時などにじみ出る。立せ。立を流す。
天地	天と地。世界。立天地。	天地	天と地。世界。立天地。
模様	(1) あまんじく。立模様。(2) 分に変えて作る。立模様。	模様	(1) あまんじく。立模様。(2) 分に変えて作る。立模様。
粗い	まちがい。立粗い。	粗い	まちがい。立粗い。
争う	(1) 手取る。立争う。(2) 競争する。立争う。	争う	(1) 手取る。立争う。(2) 競争する。立争う。
荒立てる	荒らす。立荒らす。	荒立てる	荒らす。立荒らす。

家元いえども
①その流派の本家として、
直を受けている地位。

また、その地位にある人。家主。

さといた。☆一からの送金。

病氣やき。苦しみ。

癒えるへ。かなおる。改善かし。

以遠いとん。ある場所より遠いほう。そ

硫黄りゆうこう。マツチの硫酸の原産地。硫黄島。

庵あん。そつまな小屋。僧や隠者の住處。

以下いりや。仮住まい。☆を結ぶ。

意外いにしあい。前には思ひもしなかつたこと。

威嚇いわいか。死者的の体をかねる。遺骸。

胃潰瘍いわいろう。胃の粘膜がただれて起る病気。

遺憾いわんか。おどし。威圧。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

遺憾いわんか。死体。☆を安置する。

胃潰瘍いわいろう。胃の粘膜がただれて死者の体をかねる。遺骸。

医学いがく。人体の研究や病氣の治療、予防などを研究する學問。

生かす・活かすいがす・はかす。生きている。生かす。活力である。☆を保たせる。②命を保たせる。③通用する。☆の性を一の大敗を。本や竹などを使なき。水に浮かべたもの。☆一滅す。運物を作る物。☆にはめ。

鎌形いかんけい。本の竹などを使なき。水に浮かべた金屬を流しこんで揚物を作る物。☆にはめ。

筏いか。本の竹などを使なき。水に浮かべたもの。☆一滅す。運物を作る物。☆にはめ。

息いき。①呼吸。呼吸作用。☆一が呼吸作用。☆が呼吸作用。☆が呼吸作用。☆が呼吸作用。☆が呼吸作用。☆が呼吸作用。☆が呼吸作用。☆が呼吸作用。

医学いがく。本の竹などを使なき。水に浮かべたもの。☆一滅す。運物を作る物。☆にはめ。

（個性のない人間に教育する。）

いがみ合あらがひう。①敵がたがいにかみつけられ、争い合つとする。②敵をを持つ。争い合つ。

碇碇。錨。①船が流れやすくなつて、止まりやつた。②つけたままに、止めたままに。

衣冠いかん。朝廷に出る時に着た略式の式服。

怒いかり。①わるい。☆顔をまつ。亦に叫びて水底に沈めておもり。☆を下ろす。②物をひっかけたりげる道具。

怒いかりる。①わるい。☆顔をまつ。亦に叫びて水底に沈めておもり。☆を下ろす。②物をひっかけたりげる道具。

衣冠いかん。①二重もとかみ入り。②音。

衣冠いかん。☆顔をまつ。亦に叫びて水底に沈めておもり。☆を下ろす。②物をひっかけたりげる道具。

衣冠いかん。朝廷に出る時に着た略式の式服。

移管いきかん。事業をする。

儀觀ぎくわん。すばらしいなかめ。堂々とした外観。

遺憾いわんか。①残りおいしたこと。概念。☆に中止する。②次の悔。

遺憾いわんか。前には思ひもしなかつたこと。

域いき。内へ出でた。内へ出でた王地。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

胃癌いわがん。胃の中、多くは幽門門の癌。

（個性のない人間に教育する。）

意氣いき。①気立て。人生。☆一投合する。②元気。☆一氣概。☆一

意氣いき。①向方とする。②去ること。運去に。つて去ること。運去に。つて去ること。運去に。

意氣いき。①向方とする。②いからうこと。☆一になる。

意氣いき。①いからうこと。☆一がある。

意氣いき。①いからうこと。☆一がある。

意氣いき。①いからうこと。☆一がある。

意氣いき。①いからうこと。☆一がある。

意義いぎ。①ちかつな見通し。反対の意見。

意義いぎ。見かね無むじ。申入る。

意義いぎ。法律上。反対や不服の意見を表すこと。

意義いぎ。すこし。☆一申付。されることは、☆一申付。

意義いぎ。法律。だけ申付。

意義いぎ。すこし。申付。

意義いぎ。ある研究。

意義いぎ。よく似ていること。

意義いぎ。☆一似て。☆一似て。

意義いぎ。☆一似て。☆一似て。

意義いぎ。☆一似て。☆一似て。

意義いぎ。☆一似て。☆一似て。

意義いぎ。☆一似て。☆一似て。

意義いぎ。☆一似て。☆一似て。

意義いぎ。☆一似て。☆一似て。

生き字引いきじひ。なんともよく知っている人。

生き字引いきじひ。①専門家。☆一投合する。②元気。☆一氣概。☆一

生き字引いきじひ。①向方とする。②いからうこと。☆一になる。

生き字引いきじひ。①向方とする。②いからうこと。☆一がある。

に立つ。☆一練習が立つ。④半公がある。⑤開幕で、一連の石が敵に取られない状態になる。

育いく。①子だつ。子だつする。②いからうこと。☆一だつ。子だつする。

生け垣 <small>がき</small>	木を植え並べて作った 垣 <small>がき</small> 。☆ーを過らす。	生け垣 <small>がき</small> へ木を植え並べて作った 垣 <small>がき</small> 。☆ーを過らす。
生け捕 <small>がく</small>	捕る。②どこにする。	生け捕 <small>がく</small> る。①生き かまま神に供えること。またそ の生き物。☆ーを捕げる。②捕性
生け贋 <small>がん</small>	犠牲。①生き 物を生む。	生け贋 <small>がん</small> 。①生き かまま神に供えること。またそ の生き物。☆ーを捕げる。②捕性
国 <small>こく</small>	いのちの元気。☆ーを味わう。	国 <small>こく</small> 。生きかましの元気。☆ーを味わう。

意 <small>い</small> 地 <small>じ</small>	心地 <small>じ</small> 。依怙 <small>こ</small> 地 <small>じ</small> 。	意 <small>い</small> 地 <small>じ</small> 。心地 <small>じ</small> 。依怙 <small>こ</small> 地 <small>じ</small> 。
遺稿 <small>いこう</small>	その場所や地位にて 感しる気分。	その場所や地位にて 感しる気分。
遺稿 <small>いこう</small>	我をおし通すことを 後に忘れないつぶつ。後に 我をおし通すことを。	我をおし通すことを。
遺稿 <small>いこう</small>	我をおし通すことを。	我をおし通すことを。
遺稿 <small>いこう</small>	我をおし通すことを。	我をおし通すことを。

医 <small>い</small> 師 <small>し</small>	強固 <small>ごうぐ</small> 。③決心する心の働き。	医 <small>い</small> 師 <small>し</small> 。☆ー強固。③決心する心の働き。
医 <small>い</small> 師 <small>し</small>	かたいもの。無情なもの。☆頭。	医 <small>い</small> 師 <small>し</small> 。かたいもの。無情なもの。☆頭。
医 <small>い</small> 師 <small>し</small>	医術を藝とする人。医者。	医 <small>い</small> 師 <small>し</small> 。医術を藝とする人。医者。
医 <small>い</small> 師 <small>し</small>	会 <small>あ</small> 。法 <small>ほう</small> の診断。	会 <small>あ</small> 。法 <small>ほう</small> の診断。
医 <small>い</small> 師 <small>し</small>	考 <small>かう</small> 。☆ーを確かめる。	考 <small>かう</small> 。☆ーを確かめる。

意 <small>い</small> 志 <small>し</small>	強固 <small>ごうぐ</small> 。③決心する心の働き。	意 <small>い</small> 志 <small>し</small> 。☆ー強固。③決心する心の働き。
意 <small>い</small> 志 <small>し</small>	情 <small>じ</small> ☆承知 <small>のうし</small> 。一画缺。	意 <small>い</small> 志 <small>し</small> 。情 <small>じ</small> ☆承知 <small>のうし</small> 。一画缺。
意 <small>い</small> 志 <small>し</small>	我をおし通すことを。	我をおし通すことを。
意 <small>い</small> 志 <small>し</small>	忘れないつぶつ。後に 我をおし通すことを。	忘れないつぶつ。後に 我をおし通すことを。
意 <small>い</small> 志 <small>し</small>	我をおし通すことを。	我をおし通すことを。

移植 <small>いせき</small>	植物を他の場所に植えか えること。②体の病氣の部 分を切り取って、他の健康な部 分を植えること。☆角膜。	移植 <small>いせき</small> 。①植物を他の場所に植えか えること。②体の病氣の部 分を切り取って、他の健康な部 分を植えること。☆角膜。
移植 <small>いせき</small>	死後に残した財産。☆ー	死後に残した財産。☆ー
移植 <small>いせき</small>	おしかがない椎威。	おしかがない椎威。
移植 <small>いせき</small>	移つて行くこと。☆ー措置。	移つて行くこと。☆ー措置。
移植 <small>いせき</small>	新制度への一歩。	新制度への一歩。



一摸へ	①ひとすなり。②ほんのわずか。☆一の不安。	いちまつ	いちまつ 市松 暗い色の四角形をなすいちまい並べた模様。
一味	①一品の副食類。②仲間同士。☆盜賊の。	いちみ	いぢみ がいに並べた模様。
一脉	ひとつのつながりがあること。	いちめい	いちめい 同士。☆盜賊の。
一面	と、☆—相手する。	いちめん	いちめん ある面 一方 ☆一から見えると。②全面 ☆一の大悔。
一面識	一度会って少し知つていること。☆—知らない。	いちめいしき	いちめいしき 新聞の第一ページ。
一網打尽	魚をなるように、ひとみで多くの味を残さず捕らえること。	いちめいだじん	いちめいだじん 一度会つて少しあつて、魚をなるように、ひとみで多くの味を残さず捕らえること。
一目	ひとひとの人の顔。②度だけ見ること。③一個の鼻孔。④度だけ見る。	いちめい	いちめい ひとひとの人の顔。②度だけ見ること。③一個の鼻孔。④度だけ見る。
一物	ひとつのもの。例のもの。男根。③ぐるみ。	いちもの	いちもの ひとつのもの。例のもの。男根。③ぐるみ。
一文字	ひとつの文を。②横に一の形。③道。④かけ綱の上半につける細い丸。	いちもじ	いちもじ ひとつの文を。②横に一の形。③道。④かけ綱の上半につける細い丸。
一躍	ひととび。②飛躍すること。	いちやく	いちやく ひととび。②飛躍すること。
一意中	心うち。心中で思つているところ。☆一の意。☆意図。☆意念。☆意見。☆意圖。	いちゆうちゆう	いちゆうちゆう 心うち。心中で思つているところ。☆一の意。☆意図。☆意念。☆意見。☆意圖。
一樣	ひととおり。☆一のこと。	いちよう	いちよう ひととおり。☆一のこと。
一陽來復	不運が続いたあとで幸運が現れる。	いちようらいふく	いちようらいふく 不運が続いたあとで幸運が現れる。
一くまとめた水	まとめて水。	いちくまとめたすい	いちくまとめたすい まとめて水。
翼	いちよこの下のきさぎを見る。	いちよく	いちよく いちよこの下のきさぎを見る。
一覽	ひつじょう。②ひととおり見て回ること。	いちらん	いちらん ひつじょう。②ひととおり見て回ること。
一陽來復	不運が続いたあとで幸運が現れる。	いちようらいふく	いちようらいふく 不運が続いたあとで幸運が現れる。
一喝	声を大に叫ぶこと。	いかか	いかか 声を大に叫ぶこと。
一貫	ひとじきにじりぬくこと。	いつかん	いつかん ひとじきにじりぬくこと。
一刻	音の時間で、一時の四分。	いっかく	いっかく 音の時間で、一時の四分。
約	約二七五キロ。③音の震動の単位。	よく	よく 約二七五キロ。③音の震動の単位。
約束かな時間	約束かな時間。	よくそくかなじかん	よくそくかなじかん 約束かな時間。